



18年度千葉スクラムユニオン 団結旗開きを開催

千葉スクラムユニオンは2月2日（金）午後6時半から、国労千葉地本事務所で30名余りの参加で、18年度千葉スクラムユニオン団結旗開きを開催しました。

恒例により、金澤全労協議長からの来賓挨拶を受け、以下、国労千葉地本（加藤書記長）、新社会党千葉県本部（菅原副委員長）、千葉県共闘会議（堀川議長）の挨拶のあと、懇談会に入りました。今回は、JAL不当解雇撤回闘争団の他、初めて、ユナイテッド航空闘争団が参加しました。物販ではマッコリ20本が完売しました。



JAL闘争団です。

18けんり春闘の課題と目標

【2018年11月27・18春闘全国実行委員会結成集会（抜粋）】

安倍政権の「働き方改革＝働かせ改革」に

対抗し、真んに人間らしい労働＝ディーセントワークを取り戻す運動と実戦を創り出すことが求められている。

8時間働けば生活できる賃金を求める闘いは長時間労働の規制を中心とした労働法制改悪反対の闘いと「どこでも誰でも人らしく生活できる賃金」の獲得を一体として闘うことである。最低賃金の大幅引き上げは喫緊の課題である。

17春闘から始まった、「貧困と格差と差別と闘う総がかり行動」をさらに拡大させるとともに、非正規労働者の処遇改善を柱にどこでも誰でも「8時間働けば生活できること」、「戦争をしない、させない社会」に向けて安倍政権と対抗し、安倍自公政権の打倒によって平和で人間らしい生活を取り戻すことである。



初参加の(ユナイテッド航空闘争団)

《具体的には》

- 1、 どこでも誰でも「20万円・月以上、1500円・時以上の最低賃金補償」、最低賃金をどこでも誰でも1500円、今すぐ1000円に引き上げ」
- 2、 20万円以上、7%以上の賃金引上げ要求（7%の根拠、消費税UP（2%）、定昇（2%）、格差是正（3%）
- 3、 時間外労働の法規制・1日2時間、月20時間。年150時間
- 4、 時短・要員増・インターバル休憩（11時間以上）、労働8時間、睡眠8時間、自分の時間8時間を基本として要求



(井上朋子・埼玉医科大学解雇撤回裁判闘争・ユニオンネットお互い様)

5、非正規労働者の処遇改善

- ① 契約法18条による無期転換の実現と、労働条件引上げ要求
- ② 20条裁判闘争、全ての争議勝利
- ③ 外国人労働者・移住労働者の人権無視、奴隷労働の根絶、権利拡大

6、公共サービス関連民間労働者の集中的賃上げと自治体への申し入れ

7、安倍「働き方改革」・働き方改革推進一括法案を廃案へ



(東京過労死防止を考える会・中原のり子さん)

- ① 過労死根絶・時間外労働規制の実現、真に同一労働同一賃金

8、政治・社会的課題

- ① 九条改憲阻止、戦争法廃止・共謀罪法案廃止、朝鮮半島戦争策動阻止
- ② 沖縄新基地建設阻止、脱原発社会

実現、武器輸出・原発輸出反対

- ③ 労働法改悪—働き方改革推進法案反対、均等待遇実現、36協定特別条項の廃止、最賃引上げキャンペーンの実施、解雇の金銭解決制度、労働審判策動との闘い
- ④ 社会保障切り捨て反対！セーフティネットの確立、介護保険料引上げ等、新税の導入攻撃との闘い
- ⑤ 「貧困・格差・差別を許さない総がかり行動」の建設、反貧困、弁護士団、介護・保育、移住労働者に係わる闘いとの連携
- ⑥ 消費税引き上げ反対

「科学的社会主義」18年2月号
《私たちが直面している情勢(2)と課題》
から抜粋



金沢全労協議長からの挨拶

金沢全労協議長：「労働者を取りまく情勢の特徴と18春闘」

労働者は「労働力」を安売りしてはならない。雇用の安定や賃金はわれわれの生活の基本である。労働組合の存在感が薄れ、官製春闘と揶揄される状況をわれわれ団結と戦闘力で突破しなければならない。

いま日本社会が大きく転換しようとしている。18春闘では、自らの生活改善の闘いとともに、安倍政権の9条改憲攻撃、朝鮮半島の戦争を許さない闘いと沖縄辺野古新基地建設阻止、原発再稼働反対の闘いと連携させて闘うことが求められている。雇用を破壊し、暮らしを続ける安倍政権に対して、安心して働き生活のできる社会の実現を、労働者・労働組合こそが作りだしていかなければならない。